

## 目 次

### 第 1 章 計画策定にあたって

1	計画策定の背景	2
2	計画の目的	2
3	計画の対象	2
4	計画の期間及び評価	2

### 第 2 章 子ども読書プラン推進の取り組み

◎	子ども読書プラン概要図	3
1	家庭・地域における取り組み	4
2	学校における取り組み	4～5
3	行政における取り組み	5
4	関係機関との連携・協力	6

### 第 3 章 資料

1	利尻富士町の子どもの読書活動についてのアンケート分析	7～12
2	利尻富士町の子どもの読書活動についてのアンケート集計表	13～16
2	参考資料	17



## 第1章 計画策定にあたって

### 1 計画策定の背景

利尻富士町では、平成23年度から新しい「利尻富士町生涯学習推進計画」が施行され、子どもに係る読書活動については第2章第2節「1地域で子どもを育てる体制作り」及び第2章第3節「1学習者の育成・支援」において、推進していくことが明記されています。

主な取り組みとしては、平成17年度から始まったブックスタート事業が挙げられます。保健センターで行われる健診の場で、生後6ヶ月をこえた乳児に絵本のプレゼントを行い、全ての子どもたちに本に触れ合う機会を提供しています。

また、平成21年度からは読書ボランティアサークル「りっぷの森」が立ち上がり、鴛泊小学校の低学年を中心とした「朝の読み聞かせ」では、子どもたちはもちろん、ボランティアにとっても「本」を通して楽しい時間を共有しています。

各保育所・学校でも、「読み聞かせ」及び「読書の時間」を設定したり、「学級文庫」を設置したりと独自の活動を行い、子どもたちの読書環境の向上に努めています。

しかし、本町の子どもたちの読書環境は年々向上しているとはいえ、まだ十分なものとは言えません。赤ちゃんから高校生までの一貫した計画を策定することで、各関係機関が目的を共有・連携し、強みを生かした活動を展開することで、子どもたちにとって本がより身近なものになるようお願い、計画を策定するものです。

### 2 計画の目的

この計画は、子どもたちが読書に親しむ機会をより多く提供するため、図書の実質や、家庭・地域・関係各団体の啓発・活動推進を目的とします。

### 3 計画の対象

この計画は、0歳から18歳までの子どもを中心に、全ての町民を対象とします。

### 4 計画の期間及び評価

この計画の期間は、平成24年度から平成28年度までの5年間とし、必要に応じて見直しを行います。

## 第2章 子ども読書プラン推進の取り組み

### ◎利尻富士町子ども読書プラン概要図



#### ○乳児期

本と出会い、お話を聞く楽しさが実感できる取り組みを  
（家庭での読み聞かせ、乳児期の子育て支援、ブックスタート事業 など）



#### ○幼児期

本に親しみ、親子でスキンシップを  
（家庭・保育所での読み聞かせ、幼児期の子育て支援、保育所での図書の充実 など）



#### ○小学校

たくさん本と出会い、本を活用する取り組みを  
（朝読書、読書ボランティアの活用、委員会活動、図書を活用する学習活動、小学校での図書の充実 など）



#### ○中学校

読書の質を高め、情報活用力を育む取り組みを  
（朝読書、学級文庫、委員会活動、図書を活用する学習活動、中学校での図書の充実 など）



#### ○大人になっても…

最も身近な生涯学習として、読書活動の推進者として  
（習慣としての読書、図書室の利用、ボランティアへの参加、子どもへの読み聞かせ など）

## 1 家庭・地域における取り組み

家庭での読書は、子どもたちにとって本に親しむ機会の第1歩です。乳幼児期に多く本に触れ合い興味関心を持つことは、その後の読書習慣の形成に大きな影響を持ちます。子どもたちが読書の楽しみを実感できるよう、環境整備を進めるとともに、成長に合わせて子ども及び保護者に読書の大切さを伝える活動を行います。

### 【推進方策】

- ・全ての子どもたちが本に触れ合う機会を、早期に保障されるよう、ブックスタート事業を推進します。

事例) 生後6ヶ月をこえた乳児へブックスタートセットの贈呈

- ・図書紹介や、読書に関する資料を配布し、親子での読書活動が盛んになるよう啓発活動を行います。

事例) 乳幼児期の子育て支援・情報提供

- ・保護者が多く集まる機会を利用して、家庭での生活習慣も含めたルール作りを呼びかけ、読書習慣の形成を呼び掛けます。

事例) 1日体験入学での子育て情報の提供

- ・子どもの読書活動に係るサークル活動の育成及び支援と、活動機会の確保に努めます。

事例) 図書サークル「りっぴの森」へ支援



## 2 保育所・学校における取り組み

本町の子どもたちの多くは、保育所から集団生活が始まり、様々な人とふれ合いや、体験活動を通して自らの生きる力を身に付けていきます。このような時期に読書習慣を形成することは極めて重要であり、これまで家庭で培ってきた読書習慣をさらに推し進め、しっかり定着させることや、学習活動に関連させ、資料として図書を活用していく力の育成など、発達段階に合わせた読書活動を設定していくことが重要です。各保育所・学校の読書環境整備や意識啓発の取り組みが期待されます。

## 【推進方策】

- ・蔵書数や内容を充実させ、学習活動が促進するような図書の充実に努めます。  
事例) 学校図書の充実、図書を活用する学習活動の推進
- ・子どもたちの読書習慣が定着するよう、各保育所・学校の実態に合わせた独自の読書活動を推進します  
事例) 読み聞かせ、朝読書、学級文庫、委員会活動 など
- ・「4/23子ども読書の日」など全町的な取り組みに合わせ、子どもたちの読書意欲が高まるような啓発活動を行います。  
事例) ポスターの掲示、特設コーナーの設置、期日に合わせた委員会活動 など
- ・子どもの読書活動に関するサークルや地域のボランティアを活用し、子どもたちの読書環境の充実に努めます。  
事例) 図書サークル「りっぷの森」の活用、学校支援ボランティアの活用

## 3 行政における取り組み

図書室は、最も身近な学習拠点として子どもたちはもとより町民にとって重要な役割を担っています。多くの町民の方に親しんでもらえるよう、図書室機能の整備と充実に努めていくことが求められています。

また、子どもたちの読書意欲をより一層高めるため、地域や、関係各団体への情報提供・広報活動を充実させていきます。

## 【推進方策】

- ・町民の方が利用しやすい環境づくりのため、蔵書の管理・充実に努めます。  
事例) 図書室の環境整備、蔵書の管理、広報活動
- ・読書活動を推進する人材を育成するため、職員及び読書ボランティアの研修の機会を確保します。  
事例) 読書推進アドバイザー養成講座等へ派遣
- ・普段の広報活動に加え、「4/23子ども読書の日」など、全道・全国的な取り組みを促進する活動を行います。  
事例) ポスターの掲示、関係団体への広報・協力要請、特設コーナーの設置、読書感想文コンクール など

## 4 関係機関との連携・協力

本計画の趣旨である発達段階に応じた一貫した計画を有効なものにするため、保育所、学校、地域、その他関係機関と連携を深め、子どもたちにとって、より良い読書環境の提供を進めていきます。

### 【推進方策】

- ・ 総合保健福祉センターと連携し、健診などの機会を利用した読書推進活動を進めます。  
事例) ブックスタート事業の協力依頼
- ・ 校長会等で、本計画の趣旨を説明し、保育所・学校の協力を求めます。  
事例) 読書推進活動への協力要請、保護者向け情報の発信・配布協力
- ・ 図書ボランティアサークルと、それを求める団体との連絡調整を行い、ボランティア活動の拡大・充実を図ります。  
事例) ボランティアサークルと学校との連絡調整
- ・ 道立図書館との連携を維持し、貸出図書の充実に努めます。  
事例) 図書館活動支援ブックス事業

